

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 7 年 1 月 20 日

事業所名 たらびあぼけっと岐阜瑞穂教室

保護者等数（児童数）24(25)

回収数 21

割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	3件	件	件	・走り回れる空間に個室の部屋もある。	子どもの突発的な行動に即対応できなかったり、目が行き届かないことも考えて、日頃から時間や動き方など話し合って実施して行く。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18件	1件	件	2件	・一人の先生がついてくれるので安心して預けられます。	1対1の療育を常に確保するのは現在難しい状況にあるので、安全面からも引き続き求人人対をオーナーに求めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19件	1件	件	1件	・清潔で広々とした生活しやすい空間になっていると思います。	引き続き危険な箇所がないかをチェックして段差をなくす、指踏み防止などの対策をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	20件	1件	件	件	・とても清潔にされていると思います。おもちゃもたくさんあって、フワフワできる空間だと思います。	家具やおもちゃの消毒はまめにし、感染症防止の対策を引き続き取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20件	件	件	1件	・わかりやすい計画を立ててくださりありがとうございます。	保護者の要望やご意見を踏まえながら、子どもの発達を応援する支援計画の作成と、職員全員で内容を常に共有しながら支援に取り組んでいく。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20件	件	件	1件	・面談の時にしっかり聞いてくれるので今の子どもに合った支援をちゃんとしてくれる。	今後も支援に必要なガイドラインの項目を確認しながら、全職員で支援を工夫していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20件	件	件	1件	・面談の時にしっかり聞いてくれるので今の子どもに合った支援をちゃんとしてくれる。・子どものことを細部まで考えてもらえている。	個別セラピーだけでなく、子どもが教室に来て帰るまでが支援ということを全職員で意識し、支援計画に沿った支援をする気持ちで関わって行く。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20件	件	件	1件	・毎回違う内容でカリキュラムを行ってもらえてとてもありがたい。	今後も各セラピストで内容を工夫し、固定化しないよう取り組んでいく。また、時々プログラム内容が固定化されていないかを主に児童支援がチェックし助言するようにしていきたい。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7件	2件	3件	9件	・まだこども園に行っていないため接していないです。	教室と子ども園などとの交流は現在していないが、今後交流できる体制が作れた際は検討していきたい。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21件	件	件	件	・契約の際に説明があり、わかりやすく丁寧な説明でした。	契約時に丁寧に説明できている。引き続き行っていく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20件	件	件	1件	・とても詳しく説明してくださいました。	契約時に細かく説明し保護者と共有できている。引き続き行っていく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	11件	3件	1件	6件	・口頭での説明はあった（実際に見学はしていない）・毎回家での関わりアドバイスがほしい。	これまで数回要望のあった保護者やこちらから勧めを行った。時間の確保が難しい保護者もいるので、全ての保護者にはできないが、今後も家族支援を積極的に行っていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	2件	件	1件	・毎回、今日はどんなことができたか、どんな様子だったか細かく教えてもらえます。家でのアドバイスも教えていただけます。	日々のフィードバックでのご連絡はもちろん、時間をいただき丁寧にセラピー内容を説明するなどできている。今後も保護者が得た情報をできる限りお伝えし共通理解につとめていく。
保護者 への 説明 等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16件	件	件	5件	・すぐに相談のつてくれるので助かっています。	定期的に面談して育児について細かくお聞き取りし、助言など支援できている。引き続き取り組んでいく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8件	3件	1件	9件	・特に参加していないのでわからない。まだ保護者会に参加していないためわかりません。	まだ利用者が少なかった時期は月1回保護者同士の関わりができる機会を作っていたが、利用者が増え、時間の確保が難しくなってきたら開催できない。開催できる状況ができたらか検討していきたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15件	2件	件	4件	・相談するとすぐに対応してくださり、いつも助かっています。	保護者からの相談の申し入れがあった際は、できる限り迅速に対応するようにしている。しかし、人員不足でセラピーに入るため対応できない状況もあり、人員確保をオーナーに引き続き求めて迅速に対応できるようにしていきたい。
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20件	1件	件	件	・教室での様子の写真や動画を送っていただけなので嬉しいです。	子どもとの意思疎通にはカードなどの支援教材を活用したり、保護者に向けて紙媒体の通信発行やLINEでその日の子ども様子を送るなどして情報伝達の配慮をしている。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17件	件	1件	3件	・LINEで活動の様子を送ってくださり、行事などの様子も通信でわかるので嬉しいです。	活動内容や行事、連絡は毎月通信を発行して発信している。自己評価結果の発信は今年度開設したためまだしていないが、年度内に発信する予定。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17件	件	件	4件	・注意して管理していただけていると思います。	鍵のかかる書庫で保管し、毎日施錠している。忘れることのないように職員間で確認しあって取り組んでいく。
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15件	3件	件	3件	・LINEでお知らせいただいているので問題ありません。（緊急時、悪天候の時の教室中止等）	今年度は4月と10月に避難訓練を実施した。マニュアルの詳しい説明は保護者にはしていないが、作成したマニュアルに基づいて緊急対応することをお伝えし確認している。マニュアルや業務継続計画を自由に見学できるように玄関にファイルなどを置いている。
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11件	2件	件	8件	・まだ訓練している日に行っていないためわかりません。・5月ごろに避難訓練していた。	年2回訓練を実施している。その他、救命教諭の講習を受けるなどしている。	
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19件	2件	件	件	・「〇〇先生いい！」と先生の名前を覚えて行くのを楽しみにしています。・たらびあ行くよと伝えると喜んでくれます。先生、お友達が好きみたいです。・嫌がらずに積極的にやっているため楽しみにしています。・とても楽しみにしています。先生が大好きなようです。	ご意見を踏まえて、保護者の子育ての力になれるよう今後もサポートしていきたい。また、職員間の情報共有や知識向上、スキルアップなどにも力を入れていきたい。
	23 事業所の支援に満足しているか	18件	3件	件	件	・「〇〇先生いい！」と先生の名前を覚えて行くのを楽しみにしています。・先生方皆さん優しく丁寧なアドバイスをいただけるため満足しています。本人も面白い始めてから成長していると思います。・家庭・園での困りごとを相談するときに細やかに支援していただき助かっています。・まだ始めたばかりなので様子見な部分が多く、支援してもらっていることが即生活改善につながることもないですが、現時点ではどちらともいえないかなと思いました。・先生と1対1の個別療育があるのですごく満足しています。	ご意見を踏まえて、保護者の子育ての力になれるよう今後もサポートしていきたい。また、職員間の情報共有や知識向上、スキルアップなどにも力を入れていきたい。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年 1月 20日

事業所名 てらびあぼけっと岐阜瑞穂教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4件	件	利用するお子さまの人数やセラピー内容、お子さまの特性を考慮して利用する個室を選んだりしている。	大部屋での活動の際、子どもに目が行き届くよう職員間で声掛けをしていく。連絡帳の記入は個室でできるだけ決まった時間までに終わらせるようにしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	件	4件	ソーシャルセラピーに変更したり、新しい利用者さんには週2をまずは週1からの利用にさせていただくなどの工夫をしている。	オーナーの理解と求人求め、早急に職員の配置数を確保し、セラピーやそれ以外の業務に時間をかけられるようにしていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4件	件	危険箇所の点検。つまづきを防ぐため段差のないよう対策している。	頭部の危険がある子どもへの配慮を徹底して行く。教材や玩具も子どもの特性を考慮の上選択して行くよう全職員で確認して行く。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4件	件	毎日の清掃、消毒。おもちゃの除菌作業もできる時は積極的にやっている。	家具やおもちゃの消毒はまめにし、感染症防止の対策を引き続き取り組んでいる。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2件	2件	セラピーの時間以外で時間を作るため昼休憩を使ったり、水曜日Bクール時間を確保している。	職員全員の参加を確保するのは難しく、現時点ではなかなか継続して行っていないので、まずは行えるように職員数を増やすなどの改善に取り組んでいく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4件	件	今回が初めての評価となる。	しっかり評価して教室の運営や支援にしっかり活かしていきたい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	件	4件	まだ公開していない。	開設して初年度のためこの評価が初めて。しっかり取り組みたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	4件	まだ外部評価は行っていない。	外部評価については検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	件	4件	年間の研修計画を立て、毎月1回研修の機会を確保できるように取り組んでいる。	研修の時間の確保ができず研修の機会を作れない月があった。まずは職員を増やし時間の確保をはかり、定期的に研修ができるようにしていきたい。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4件	件	児発管が主となってアセスメントを行い、計画を作成している。作成の時間が確保できるようにセラピーの工夫や職員の配置を工夫している。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4件	件	実施できている。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4件	件	実施できている。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4件	件	プログラムの選択やセラピーの工夫の際に、支援計画も確認して工夫することを職員に伝えている。	支援計画をもとに支援を工夫し実施する意識を、全職員が忘れずに持てるように共通確認を続けて行く。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	件	4件	ソーシャルセラピーの立案を担当セラピスト同士で行ったり情報共有をできる限りしている。	チームで話し合う時間の確保が難しく、常にチームで立案はできていない。時間確保のために職員を増やしていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4件	件	各セラピストが他のセラピストと話し、固定化しないよう工夫している。	各セラピストに任せられていることが多く、セラピスト個人で悩み工夫する負担が出てしまう。現時点では時間の確保が難しいが、定期的なカンファレンスを開き、子どもの情報共有やセラピーについて話し合う機会を作り、みんなで工夫できるようにしていきたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4件	件	実施できている。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4件	件	毎朝朝礼で実施している。	今後も朝礼で必ず打ち合わせをしていく。支援内容についても必要に応じて打ち合わせをしているが、必ずではないので、意識して少しでも気になることは話し合うように心がけて行く。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	件	4件	片付けをしながらその場にいるセラピスト同士で情報交換したり振り返りを行っている。	毎回の支援終了時に職員全員で振り返りをするのは難しい場合もあるので、記録を残して行き、できる限りになることや共有したい情報は話を共有するよう、終礼の時に短くても時間を作る。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4件	件	せらびーの一との控えやデータに支援の詳細等を記録している。	今後もデータやせらびーの一との控えに振り返りとなる情報を書き込んで職員が呼んで情報共有できるようにしていく。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4件	件	実施できている。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4件	件	児発管が担当になって参加している。	児発管の負担が増えすぎないように、仕事内容や時間の確保など今後も工夫して行く。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4件	件	営業の際に保健センターを訪問したり、保健師や子育て支援担当の方と話す機会を作ったりしている。	利用している子どもや保護者の支援について今後も保健師さんや関係者の方々と連絡を取り連携していく。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	4件	現在医療的ケアが必要な子どもはいないので行っていない。	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	4件	現在医療的ケアが必要な子どもはいないので行っていない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4件	件	保育所や子ども園、幼稚園と連絡を取り、情報共有をしている。	特別支援学校の幼稚部との連携はまだ対象のケースがないため行ってはいるが、今後必要となる際は保育園などと同様に情報共有して連携を図って行く。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	4件	現在、就学先がだいたい決まり、これから小学校と連携して行く保護者が多い。現時点では、保護者と面談して希望の就学先を開き、それに合わせて修学に向けた支援の工夫などをしている。	これから保護者の意向で小学校などと情報交換する必要があるため、現時点では、保護者の意向をお聞きしながら必要であれば小学校に連絡し連携を図って行く。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	件	4件	助言などは受けてはいるが、児童発達支援センターなどが主催する研修には積極的に申し込み、参加したりオンライン研修を受講している。	今後も研修の情報を確認して参加できる際は参加していく。

	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	4件	実施していない。	現在は活動の機会は設けていない。今後の実施については検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4件	件	児発管が担当となり子ども部会へ参加している。	児発管の負担が増えずに、仕事内容や時間の確保など今後も工夫していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4件	件	お迎えの際に必ず情報を共有し、ご家庭の様子をお聞きしたり、家庭で取り組める支援についてお伝えしている。	今後も保護者との情報交換や共通理解に力を入れていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4件	件	これまで数回、保護者から要望があった際に支援を行った。	保護者お一人お一人の悩みや希望などに寄り添いながら、家族支援の内容を工夫し支援していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4件	件	契約の際に細かく説明し共通確認している。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4件	件	実施できている。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4件	件	実施できている。	今後も保護者のご希望などに合わせて定期的に相談に応じ、助言等行っていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	4件	まだ利用者が少なかった時期は月1回保護者同士の開会ができる機会を作っていた。	利用者が増え、時間の確保が難しくなってきたら開催できている状況ができたまま検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4件	件	迅速に対応するように取り組んでいる。	今後も迅速に対応していくが、人員不足でセラピーに入るため対応できない状況もあり、人員確保をオーナーに引き続き求めて迅速に対応できるようにしていく。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4件	件	実施している。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4件	件	鍵のかかる書庫で保管し、毎日施錠している。	施錠を忘れることないように職員間で確認しあって取り組んでいく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4件	件	子どもへは視覚支援の教材を作成し活用している。保護者にはLINEや動画、紙媒体の通信の発行などでわかりやすく伝えるようにしている。	今後もわかりやすく伝わりやすい配慮をしていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	4件	特に実施していない。	地域に対する配慮はあまりできていないが、お互いのために無断駐車への対応をすることで理解を促した点も今後つとめていく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4件	件	マニュアルを作成し周知している。また4月と10月に避難訓練を実施した。	マニュアルの周知を今後も行い、訓練を引き続き実施していく。訓練の様子については、毎月発行している通信でお知らせしていく。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	件	件	実施している。	特に問題はないので今後も引き続きしっかり取り組んでいきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	件	件	実施している。	服薬などの情報は細かくお聞き取りを行い把握できている。全職員でも情報を共有していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	件	4件	現在食物アレルギーのお子さんはいない。	今後対応が必要な子どもが利用する際は、しっかり詳細を全職員で把握し、対応できるように確認していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4件	件	実施している。	今後もヒヤリハットの事例は見逃さず、対策をしていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4件	件	実施している。	引き続き研修を行い、虐待防止につとめていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4件	件	実施している。	基本的に身体拘束は行わないことを全職員であらためて共通確認し、保護者には契約時に丁寧に説明することも引き続き実施していく。